

たしろねんぶつけんばい
田代念仏剣舞

- ◇ 指定日 平成6年11月21日
- ◇ 所在地 田代
- ◇ 保持団体 田代郷土芸能保存会

その昔、300年くらい前の飢饉で多くの餓死者が出たとき、代官所の前で田代の人々が剣舞を舞って供養をしたことに始まるといわれています。その後、明治43年(1910年)頃から盛んになり、毎年、盆の16日には田代地区の永光寺えいこうと久昌寺きゅうしょう、亡くなった師匠あらぼとけの家で、踊りを奉納した後、今年一年の新仏だいねんぶつの家をまわって死者を供養し、祖先の霊をなぐさめています。

盆の門打ちでは「大念仏」と「湊入り」の時に仏前で2列になり、「施餓鬼せがき拝み」と言って舞手が位牌に向かい、扇を水平に上下させながら「南無阿弥陀仏」と唱えます。

演目…大念仏・高太刀・綾踊り・棒剣舞・湊入り・城回し

